

平成24年10月18日

株式会社 中国銀行

基幹系システム共同化に関する基本合意について

当行、株式会社 千葉銀行（頭取 佐久間 英利／本店：千葉県千葉市） 株式会社 第四銀行（頭取 並木 富士雄／本店：新潟県新潟市）の3行は、日本アイ・ピー・エム株式会社（社長 マーティン・イエッタ - / 本社：東京都中央区 / 以下日本 IBM）の協力を得て基幹系システムの共同化を実施することに関して基本合意いたしました。

1. TSUBASA(翼)プロジェクトについて

- (1) 当行、千葉銀行、第四銀行と株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男／本店：愛媛県松山市） 株式会社 北國銀行（頭取 安宅 建樹／本店：石川県金沢市）の5行は、平成20年3月に、システム共同化について検討していくことを基本合意し、「TSUBASA(翼)プロジェクト」としてスタートさせました。また、その後、本プロジェクトの趣旨に賛同した株式会社 東邦銀行（頭取 北村 清士／本店：福島県福島市）が、本年4月に参加しています。
- (2) TSUBASA(翼)プロジェクトでは、サブシステムと共に、将来の基幹系システムのあり方についても共同で調査・研究を進めてまいりました。
- (3) 今回の基幹系システム共同化は、当行、千葉銀行、第四銀行の3行で昨年9月より1年かけて要件定義を実施し、基本合意に至ったもので、本プロジェクトにおける成果の一つとして認識しています。
- (4) なお、これまでの本プロジェクトにおけるサブシステム共同化実績は以下のとおりです。

システム種別	開発行	導入行
営業店システム	千葉銀行、第四銀行	千葉銀行、第四銀行、東邦銀行
コ-ルセンタ-システム	千葉銀行、第四銀行、北國銀行	千葉銀行、第四銀行、北國銀行
CRM(顧客情報管理)システム	当行、千葉銀行、第四銀行、伊予銀行、北國銀行	当行、千葉銀行、第四銀行、伊予銀行、北國銀行

2. 基幹系システム共同化の概要

- (1) 千葉銀行の現行システムをもとに、共同化システムとして必要とされる要件、参加行の共通要件、および参加行固有要件を取り込んだ機能を3行と日本IBMの共同開発組織が開発し、参加行が順次共同化システムへ移行します。
- (2) 基幹系システムの範囲は、勘定系・対外系システムに加え、コンビニATMなどのチャネル連携システムやサブシステムへのデ・タ連携システムも含まれます。
- (3) 移行後のシステムの開発・運用については、銀行管理のもと日本IBMに委託する予定です。

3. 基幹系システム共同化のねらい

基幹系システムの共同化により、「長期安定稼働に資するシステムの構築」、「ITコストの抑制」、「IT要員の相互補完」、「商品開発やサ・ビス提供のスピ・ドアップ」を実現することをねらいとしています。

4. スケジュール

共同化システムへの移行の安全性、移行後システムの安定稼働などシステム品質の検証に十分な期間を確保したスケジュールでのサ・ビス開始を予定しております。

千葉銀行 平成28年1月
第四銀行 平成29年1月
当 行 平成29年5月

以 上

(ご参考)

基幹系システム

銀行システムにおいて、ホストオンライン・バッチシステムを中心とした中核となるシステム群。対外との連携用システム、サブシステムとのデ・タ連携用システムなどを含む。

サブシステム

ホスト以外の顧客情報処理等の各機能を個別に実現するためのシステム群。